



デイリージーザスニュース #056

イエスのガリラヤにおける偉大な宣教

イエスの最初のガリラヤ巡礼

奇跡6：イエスは慈悲深くハンセン病の人を癒す

MK 1.40-45 (並行テキスト： マタイ8.2-4; ルカ5.12-16)

=====

40 ^Lイエスが町の一つにおられたとき、男は ^Lが^Mを覆った ハンセン病 イエスを見ると、その男はひれ伏した。 ^Mそしてひざまずいて主に懇願しました。 ^L「主よ、 ^Mもしあなたがお望みなら、あなたには私を清める力があります。」

41 イエスは深く憐れみを感じ、手を伸ばしてその人に触れて言われた。 *「わたしがそうしたい。」* 彼は言った、 *「わたしはあなたに清めを命じる！」*

42 すると、すぐにらい病は消えて、彼は清くなった。 43 イエスはただちに彼を厳重に戒めて追い払われた。 44 *「私はあなたに命じる。このことを誰にも話さないように注意なさい。しかしあなたは行って、祭司に自分を見せ、モーセがあなたの清めのために命じた犠牲 (^{MT} 贈り物) ^M を彼らへの 証しとして捧げなければならない。」*

45 すると、その人は出て行って、起こったことを語り始めた。 イエスは、多くの人々に福音を宣べ伝え、またその知らせを広め続けた。その結果、イエスはもはや公然と町に入ることができず、外の寂しい所に留まらざるを得なくなった。イエスの知らせは、その周囲の地方にまで広まり、大勢の人々が、イエスの教えを聞き、あらゆる病気を癒してもらおうと、あらゆる所からイエスのもとにやって来た。イエスは、祈るために、寂しい所へ出かけて行かれた。

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルーク = ^L、ジョン = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書の書を識別します。さらに、*赤い斜体はイエスの言葉を示します。*

コンテキストダイジェスト

位置	ガリラヤの町
時間	Ⅱガリラヤ巡礼中、9月から2月(9か月目から13か月目)
の生涯の段階	第4段階：ガリラヤでの偉大な宣教
SAGA 第11章	ガリラヤの最初の旅
セクション #055	奇跡6：イエスは慈悲深くハンセン病の人を癒す

共観福音書の著者たちは、ガリラヤへの第 1Ⅱ旅行の約 6 か月（9 月から 2 月）の間に起こった出来事の記述に、5 つの出来事のみを含めることを選択しました。そのうち 2 つは特別な奇跡です。イエスはこの旅行で、従ってきた大勢の群衆に絶えず奉仕しながら、数百人、あるいは数千人を癒しました。この 2 つの特別な癒しは特に重要で意義深いものでしたが、第 1Ⅱ旅行の中心であった奇跡的な奉仕の溢れ出る様子も表していました。この規模の癒しは、明らかに救世主のしるしでした。

今日の朗読は、イエスの宣教活動における6番目の奇跡について述べています。福音書の筆者がこのような特定の治癒場面の詳細を述べる時、そこには必ず特別な教訓が見られます。この男性のらい病の治癒は、3つの主要な点でイエスの慈悲を強調しています。本文にはこうあります。

「イエスは慈悲に満たされた...」

「ハンセン病」は特異な病気でした。この用語は、臨床的なハンセン病だけでなく、あらゆる種類の重度の皮膚疾患を指していました。このようなひどい身体疾患であるだけでなく、これらの病気はモーセの律法の下では特別な方法で扱われていました。ハンセン病は儀式上の汚れの原因でした。この病気にかかった人は他の人々から離れて暮らすことを余儀なくされ、そのため会堂、神殿、家族や友人とのあらゆる交流が禁じられました。ハンセン病患者は、他の人々が自分を見ると警告として「汚れている！汚れている！」と叫び、直ちにあらゆる接触を避けなければなりませんでした。

旧約聖書では、ミリアムやウジヤ王のような人々が神に反抗したときに、すぐにらい病にかかったため、この病気は、罪が私たち全員の内面に及ぼす影響の外的な表現であると考えられていました。律法の下では、この病気は不浄な状態として扱われ、この特徴をさらに強めました。らい病が体に及ぼす影響、そしてそれが地域社会の社会生活や宗教生活への参加に及ぼす影響は、罪が私たちの魂や神との関係に及ぼす影響の生きた寓話でした。

したがって、ハンセン病にかかった人は、神、友人、家族、そして自活する能力から切り離された生きた死に直面することになります。それは耐え難い状態でした。この背景は、この治癒の奇跡においてイエスの慈悲深い恵みが見事に示されたことを私たちに理解させてくれます。

まず、イエスがらい病の男が近づくことを許し、さらにはイエスの前に来てひれ伏すことさえ許したことに注目してください。律法によれば、このようなことは決して起こるべきではありませんでした。らい病人がイエスに近づくと、イエスの周りの人々の中には逃げた人もいたに違いありません。しかし、イエスは他の人たちと同じように、彼を歓迎しました。偉大な医者が必要なのは病人であり、健康な人ではありません。イエスは同情的にその男を仲間として受け入れました。

それだけでなく、イエスは手を伸ばしてこの男性に触れることで、おそらくハンセン病の開いた傷そのものに触れることでこの男性を癒すことを選んだ。この男性が誰かから人間の触れ合いの温かさを感じたのは、おそらく何年も前のことだった。イエスは彼に触れること、愛情と思いを身体的に表現して抱きしめることを重視した。この男性にとって、イエスの触れ合いは癒しそのものと同じくらい意味があったのかもしれない。イエスが愛情のこもった手でハンセン病を癒すという選択に、どれほどの思いやりが感じられるだろうか。

最終的に、癒された男がイエスの直接の命令に従わなかったにもかかわらず、イエスは彼に同情の念を示されました。これは、ガリラヤでのイエスの残りの宣教活動において、大きな不便をもたらしました。この癒しのニュースでイエスは人気者になったため、イエスと仲間たちは人里離れた場所で野宿を余儀なくされました。イエスは、癒す前に男がそうすることを知っていました。しかし、それでも主は手を伸ばして彼に触れ、癒すことを止めませんでした。それは純粋な恵みでした。これはイエスの本当の姿を表しており、なんと救い主なのでしょう。

イエスの慈悲によって癒された男は、イエスに従うことで感謝の気持ちを表すだろうと思うでしょう。しかし、そうではありません。彼は出かけて行って、その驚くべき瞬間的な治癒について語り続けました。彼は、治癒によってもたらされた注目と有名人としての地位をととても喜んでいました。悲しい真実は、純粋な感謝の気持ちが私たち全員を熱心に主に従うように動機づけるべきであるのに、私たちの罪深さが主への適切な応答を妨げているということです。これにより、私たちは、イエスに対する私たちの継続的な不適切な応答にもかかわらず、私たち一人一人に仕えるイエス。の慈悲を見て、経験することができます

ルカは、イエスが毎日何時間も個人的な祈りを捧げ続けるのが彼の一貫したライフスタイルであったという観察で物語を終えています。祈りによって彼の心と精神が絶えず再び活力を得たことで、イエスは力と信仰を得て、この男や私たち一人一人のような、それに値しない人々に慈悲を注ぐことができました。祈りは違いを生み出します。祈りは、この旅でイエスがガリラヤ中を精力的に旅し、宣教を続ける原動力となり、支えました

応用：

罪の重荷と罪悪感が魂を圧倒するとき、私たちは霊的ならい病人のように感じる場合があります。この男を癒すことがイエスの意志であったように、私たちを赦し、すべての非難、罪悪感、恥から解放することが常にイエスの意志です。イエスは私たちを清め、それによって、イエス自身、父、聖霊との愛の交わりに私たちを回復させます。私たちは解放されるのです！

罪の影響をすべて完全に清めてくださった神に感謝します。イエスは罪に苦しむ魂を完全に癒してくださいます。

あなたは、あなたを清めてくださった神の慈悲に対して、適切に賛美し、感謝しているでしょうか。